

ロボホンによる受付対応やAGV（自動搬送装置）でのリネン類搬送などを非対面・非接触で実施

東京都「Tokyo Robot Collection」事業^{※1} 『宿泊療養施設等の感染症対策に向けた実証』に参画



左：ロボホン<SR-05M-Y>、右：AGV（自動搬送装置）<TYPE GL-A>（写真はオプション装着時）

シャープマーケティングジャパン株式会社は、東京都の「Tokyo Robot Collection」事業の一環として、本年8月27～28日に「ホテルルートインGrand東京浅草橋（東京都台東区）」にて実施される『宿泊療養施設等の感染症対策に向けた実証』に参画します。

本件は、感染症対策のひとつとして東京都が運営する、宿泊療養施設での課題解決に資するロボットの実証を行うものです。実際の宿泊療養施設に近い構造の「ホテルルートインGrand東京浅草橋」において、受付、客室とのコミュニケーション、搬送、清掃など、様々な業務を各種ロボットが非対面、非接触で実施。スタッフや療養者の負担軽減や感染リスクの低減などの有効性を検証します。

本実証では、シャープのモバイル型ロボット「RoBoHoN（ロボホン）」による非対面・非接触での受付対応^{※2}、およびAGV（自動搬送装置）を用いたリネン類搬送のシミュレーションを行います。フロントデスクに設置されたロボホンが、本体に搭載のカメラで来訪者を検知すると、あらかじめ設定したおもてなしメッセージなどを発話します。スタッフは遠隔地からタブレット端末で利用者の映像や声を確認できるほか、利用者に問いかけたい内容をタブレットに入力することで、ロボホンに発話させることができます。また、客室にもロボホンを設置。スタッフへの問い合わせや依頼などを、ロボホンを介して音声で行うことが可能です。さらに、AGVを活用し、シーツやタオルなどのリネン類、歯ブラシなどのアメニティ類を客室に無人で搬送するほか、回収も行います。

実証事業名	使用機器	場 所	実証日
東京都「Tokyo Robot Collection」事業 『宿泊療養施設等の感染症対策に 向けた実証』	①モバイル型ロボット 「RoBoHoN（ロボホン）」 <SR-05M-Y> ②AGV（自動搬送装置） <TYPE GL-A>	ホテルルートイン Grand東京浅草橋 （東京都台東区）	2020年 8月27～28日

※1 東京都内の様々なフィールドにおいて、移動支援、警備、清掃、接客などのサービスを提供する各種ロボットの実証を行い、社会的課題の解決を目指すものです。株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：柳 圭一郎）が、東京都より委託され、事業プロモーターを務めています。

※2 ホテルなどにおける受付業務を無人化するシャープの「遠隔接客ソリューション」を活用しています。